

製品安全データシート

作成日 2015年10月1日

1. 化学物質等及び会社隋報

製品名 KCクリーナーNX
 会社名 京葉ケミカル株式会社
 住 所 〒270-1407 千葉県白井市名内3 2 4 - 1 9
 電話番号 TEL : 047-491-7609
 FAX 番号 FAX : 047-491-7625
 緊急連絡先 TEL : 047-491-7609

2. 危険有害性の要約

GHS分類

| | | |
|-----------|-----------|-----|
| 物理化学的危険性 | 引火性液体 | 区分3 |
| 健康に対する有害性 | 皮膚腐食性・刺激性 | 区分2 |
| | 吸引性呼吸器有害性 | 区分1 |

(分類できない、区分外、該当しないは記載省略)

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語： 危険
 危険有害性情報： 引火性液体及び蒸気
 皮膚刺激
 飲み込み、気道に侵入すると生命に危険のおそれ

注意書き：

【安全対策】

- ・熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。
- ・防爆型の電気機器、換気装置、照明機器を使用すること。
- ・静電気放電や火花による引火を防止すること。
- ・保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。
- ・屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。
- ・粉じん、ヒューム、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
- ・取扱い後はよく手を洗うこと。

【救急処置】

- ・飲み込んだ場合、無理して吐かせないこと。
- ・吸入した場合、空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズは外して洗うこと。
- ・皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。皮膚刺激があれば、医師の診断、手当てを受けること。
- ・飲み込んだ場合：直ちに医師の診断、手当てを受けること。

【保管】

容器を密閉して涼しく換気の良いところで保管すること。

【廃棄】

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

国・地域情報：

3. 組成及び成分情報

| | |
|---------------|---|
| 単一製品・混合物の区別 | ：混合物 |
| 化学名 | ：合成イソパラフィン系炭化水素 |
| 成分及び含有量 | ：C10-C12のイソパラフィン 100 wt% |
| 官報公示整理番号（化審法） | (2)-10 |
| CAS NO | 68551-16-6 (AlkanesC9-11, iso) 68551-17-7 (AlkanesC10-13, iso) |

4. 応急措置

| | |
|-----------|---|
| 吸入した場合 | ：直ちに新鮮な空気のある場所に移動する。 ：不快感のある場合は、直ちに医師の手当てを受ける。 |
| 目に入った場 | ：清浄な水で約15分間洗眼し、痛みが残る場合には医師の診断を受ける。 ：洗眼の際、眼瞼を指でよく開いて眼球、眼瞼の隅々まで水でよく行きわたるように洗う。 |
| 皮膚に付着した場合 | ：製品に触れた部分を水及び石鹼で十分に洗い流す。 ：外観に変化があるか、痛みが続く場合は、直ちに医師の診断を受ける。 |
| 飲み込んだ場合 | ：揮発性液体なので、嘔吐させるとかえって危険が増す。無理に吐かせず、直ちに医師の診断を受ける。水で良く口の中を洗ってもよい。 |

5. 火災時の措置

| | |
|-------------|---|
| 消火剤 | ：二酸化炭素、泡、ドライケミカル |
| 使ってはならない消火剤 | ：棒状水の使用は、火災を拡大し危険な場合がある。 |
| 消火方法 | ・初期火災の場合、粉末、炭酸ガスなどを用いる。 ・大規模火災の場合には、泡消火剤などを用いて空気を遮断することが有効である。 ・周辺火災の場合は、周囲の設備などに散水し冷却する。 |
| 消火にあたる者の保護 | ・消火作業は風上から行い、特に密閉された場所で消火の作業に従事する者は、必ず自給式呼吸具を着用する。 |

6. 漏出時の措置

| | |
|--------------------|---|
| 人への注意事項、保護具及び緊急時措置 | 付近の着火源となるものは速やかに取り除く。作業の際、保護具を着用する。 風下で作業をしない。 |
| 環境への注意事項 | 漏出物が河川等へ流出しないよう、注意する。 |

回収、中和

- ・少量の場合は、乾燥砂又はおがくず等に吸収させて、化学物質専用の場所で焼却又は廃棄処理する。
- ・多量の場合は、土砂等で囲み、液の表面を泡で覆い、できるだけ空容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い**
- ・火気、静電気、衝撃火花など着火源の生じないように注意する。
 - ・吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に触れないように、適切な保護具を着用し、換気の良い場所で作業をする。
 - ・できるだけ密閉された設備、機器又は局所排気装置を使用する。
 - ・漏洩を防止する。
- 保管**
- ・冷暗所に貯蔵。貯蔵タンクは全てアースし、スパークしない用具、装置を使用する。
- 混触危険物質** : 強酸化剤
- 容器包装材料** : 消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

8. 暴露防止及び保護措置

- 許容濃度** : 日本産業衛生学会勧告値 (2002) : 設定されていない
ACGIHへ勧告値 (2002) : 設定されていない
- 設備対策** : 取扱いについては、できるだけ密閉された設備、機器又は局所排気装置を使用する。
: 取り扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設ける。
- 保護具** : 呼吸器 適切な呼吸器用保護具を着用する。
手 保護手袋を着用する。
眼 保護眼鏡を着用する。
皮膚及び身体 体を覆う衣服以外に特別の予防措置は必要ない。

9. 物理的及び化学的性質

- | | | | |
|----------------|-----------------------------------|------------------|--------------|
| 物理的状態、形状、色など : | 無色透明液体 | 臭い : | 僅かな炭化水素臭 |
| pH : | データなし | 流動点 : | -70°C以下 |
| 蒸留範囲 : | 173~194 °C | 引火点 : | 48°C (密閉式) |
| 爆発範囲 : | 0.9-5.8 vol% | 蒸気圧 : | データなし |
| 蒸気密度 (空気=1) : | 1.0 以上 | 比重 (密度) : | 0.754 (15°C) |
| 溶解度 : | 水に対し殆ど不溶 | オクタノール/水分配係数 : | 7.2< |
| 自然発火温度 : | 200°C< | 分解温度 : | データなし |
| 臭いの閾値 : | データなし | 蒸発速度 (酢酸ブチル=1) : | データなし |
| 粘度 : | 動粘度 1.2 mm ² /s (40°C) | | |

10. 安定性及び反応性

- 安定性** : 熱、光に対し安定。
- 反応性** : 強酸化剤と反応し火災や爆発の危険がある。
- 混接触危険物質** : 過酸化物、強酸化剤

11. 有害性情報

- 急性毒性** : 経口 LD50 2000 mg/kg 以上 (限度試験) (1)
C10-13 を主成分とする n-, iso-パラフィン及びシクロアルカンの混合物では 5000 mg/kg 以上 (2)

吸入 データなし

皮膚腐食性・刺激性： ウサギで中ぐらいの皮膚刺激性
 PII=4.9, 14 日後でも皮膚の不可逆的な障害が認められたとの結果
 及び PII=4.2 で不可逆的な障害は認められなかったとのデータがある (1)

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性： ウサギで刺激性なし (1)

呼吸器感受性又は皮膚感受性： 呼吸器感受性： データなし
 皮膚感受性： なし (1)

生殖細胞変異原性： C10-13 を主成分とする n-, iso-パラフィン及びシクロアルカンの混合物
 では in vitro, in vivo とも陰性 (2)
 本製品は C8-C13 の iso-パラフィンであり変異原性はないと推定される

発がん性： 国際的機関で発ガン性と評価された事例はない。

生殖毒性： C10-13 を主成分とする n-, iso-パラフィン及びシクロアルカンの混合物
 では生殖毒性なし。

特定標的臓器・全身毒性 (単回ばく露)： データなし

特定標的臓器・全身毒性 (反復ばく露)： 区分外
 C9-13 を主成分とする n-, iso-パラフィン及びシクロアルカンの混合物の 12 週吸入
 試験で NOAEL=2000mg/m³

吸引性呼吸器有害性： 炭化水素で粘度が低いので肺に入ると危険。

1 2. 環境影響

水性環境有害性 (急性) : 水に対する溶解度が極めて低く溶解度以下では有害影響はないと推定される。

水性環境有害性 (慢性) : C8 以上のイソパラフィンは概ね難分解であるが低蓄積性。

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物： 廃棄する場合は、焼却によって行う。その際、焼却炉の火室へ噴霧し焼却してもよい。

廃棄物の処理を委託する場合は、都道府県の許可を受けた業者に委託する。

汚染容器及び包装： 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。
 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の条例に従い適切な処分をする。

1 4. 輸送上の注意

国際規則

| | 海上輸送 | 航空輸送 |
|----------------------|------------------------------|-------|
| UN No. | 3295 | |
| Proper Shipping Name | HYDROCARBONS, LTQUTD, N.O.S. | |
| Class | 3 | |
| Sub Risk | — | |
| Packing | III | |
| Marine Pollutant | Not Applicable | ----- |

国内規則

| | 海上輸送 | 航空輸送 | 陸上輸送 |
|--------|------------------|-------|------|
| 適用法令 | 船舶安全法 | 航空法 | 消防法 |
| 国連番号 | 3295 | | --- |
| 品名 | 炭化水素類（液体）、n.O.S. | | --- |
| クラス | 3 | | --- |
| 副次危険 | — | | --- |
| 包装等級 | Ⅲ | | --- |
| 海洋汚染物質 | 非該当 | ----- | --- |

- (1) 運搬は消防法の他に船舶安全法、その他関係法規の定めるところによる。
(2) 荷役作業場は火気厳禁とし、消火器を配置すると共に、作業中の標識をする。
(3) 車輛には異常時のための応急処置に必要な消火器、保護具を備える。

15. 適用法令

| | |
|---------|---------------------------------|
| 消防法 | : 危険物 第4類第2石油類 |
| 船舶安全法 | : 引火性液体類 (クラス3) |
| 港則法 | : 施行規則第12条危険物告示 引火性液体類 |
| 道路法 | : 施行令第19条の13 車両の通行の制限別表2-4 |
| 航空法 | : 施行規則第194条危険物告示別表第1 引火性液体G-等級3 |
| 海洋汚染防止法 | : プテンオリゴマー、X類物質 |
| PRT法 | : 対象外 |

16. その他の情報

参考資料

- (1) 社内情報
(2) VCCEP, n-Alkanes,2004 (ACC, n-Alkanes VCCEP Consortium)

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、以上の情報は新しい知見により改訂されることがあります。

また、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものであって、特殊な取り扱いの場合は用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。

以上は情報提供であって、保証するものではありません。